



遠藤れい子ひまわりレポート

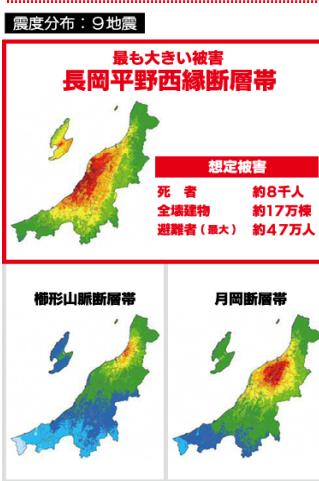
○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443

原発再稼働ストップ



福島第一原発事故の教訓は…①大地震と津波が起こり、②原発が過酷事故を起こした

令和4年、新潟県は「地震被害想定調査」を発表し、県民に地震への備えを呼びかけました。

報告書は県ホームページ参照 <https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/305959.pdf>

2008年春、東電子会社が政府の地震調査研究推進本部(地震本部)による長期評価(地震の規模や一定期間に地震が発生する確率を予測したもの)に基づいて津波の高さを計算し、福島第一原発には敷地の高さ10メート

月、福島の市民団体が東電に「地震や津波が来ると原発事故が起るから、必要な安全対策をとれ」と要請しました。

2005年5月、福島の教訓として、福島第一原発が「最大15・7メートルの津波が来襲する可能性がある」と結論を出しました。

しかし、東電はこれに耳を傾けず放置したのです。

【新潟では】花角知事も安全

を重視していたはずなのに

新潟県は地震被害想定調査で警鐘を鳴らしました。

左の調査結果をみれば明らかのように、「再稼働の条件は現状で整っている」の問い合わせ、「そう思わない」「どちらかと言えばそ

う思う」「どちらかと言えばそう思」うの

長岡平野西縁断層帯は阪神淡路大震災を上回る被害が発生すると警鐘を鳴らしました。
原発と共に存などできないでしよう！

被害項目(抜粋)		単位	長岡平野西縁断層帯
建物被害 (全壊)	揺れ	棟	112,678
	液状化	棟	1,743
	土砂災害	棟	653
	津波	棟	425
	火災	棟	55,746
	合計	棟	171,244
人的被害	死者数	人	7,920
	負傷者数	人	56,922
ライフライン被害	上水道	断水人口	人 1,375,222
	下水道	支障人口	人 1,227,818
	電力	停電軒数	計 642,431
	通信	不通回線	回線 839,314
	都市ガス	停止戸数	戸 338,243
	LPガス	支障戸数	戸 1,294
道路	箇所		997
避難者	人		471,386
被害額	兆円		22.63

柏崎刈羽原発6, 7号機の再稼働に関する考え方

「再稼働の条件は現状で整っている」に対する回答(全県集計)



知事や県議は「調査結果を正しく見よ！」
再稼働の判断は、「県民に信を問え！」

圧倒的多数の県民は再稼働に不安を感じ安全対策の整備を求めているのです。

知事「容認」の根拠「認知度が高い層は再稼働認める割合が高い」は本当か？